

千葉市と東京大学との共同研究に関する協定の締結について

千葉市と東京大学は、統計・情報分野での共同研究の実施に関する協定を締結しましたので、お知らせします。

1 協定締結の目的

千葉市と東京大学が、包括的な連携のもとに、相互に有する技術・知識を交換することにより、「千葉市のビッグデータ分析と課題抑制型事業」をテーマとして、本市の保有するビッグデータの分析を行うことで課題の可視化を図り、課題抑制型の政策立案を目指す共同研究を実施するものです。

2 主な連携事項

- (1) 千葉市が有するビッグデータの分析の推進
- (2) 人的・知的資源の交流・活用 ※東京大学所属職員1名を本市へ派遣（非常勤嘱託職員）
- (3) 協働による調査研究及び共同研究成果をもとにした事業の実施

3 主な取り組み

(1) 課題抑制型のデータ分析

東京大学大学院情報学環 須藤修研究室の研究者を中心に、市の保有するビッグデータの分析を行います。分析結果を基に課題の可視化を行い、課題解決のための方策を探索します。

(2) 課題の可視化を目的としたプロジェクト

研究者との交流により、市職員の情報リテラシーの向上を図ります。また、可視化すべきターゲットを設定し政策立案に役立てます。

4 協定締結日

平成26年6月25日

5 期間

平成26年7月1日から平成29年6月30日（3年間）